

3類型	鉱工業品及びその生産技術	番号	1
地域資源名	久留米絣	認定日	平成20年 2月22日
地域	福岡県 久留米市、八女市、筑後市、広川町	所管省庁	経済産業省

事業名：久留米絣製造技術を生かした他に類をみない「手ぬぐい」の開発と拡販

会社名：株式会社オカモト商店

所在地：福岡県久留米市日吉町12-12

連絡先：TEL：0942-32-6579

H P：http://www.giemon.com/

FAX：0942-32-6599

事業概要(新たな活用の視点)

・久留米絣が有する「括り・染め・織り」の工程を活かしつつ、新たな染色技術や織り技術を応用活用した多様な柄と色を実現した吸水性に優れた「手ぬぐい」を開発し、販路拡大を目指す。



久留米絣

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・他の競合品(手ぬぐい)と比べ、久留米絣ならではの製織法による圧倒的な吸水性やハンカチと比較した際のソフトな肌触りを併せ持つ新たな手ぬぐいとなり、幅広い年齢層の消費者を確保することを目指す。

◆市場性

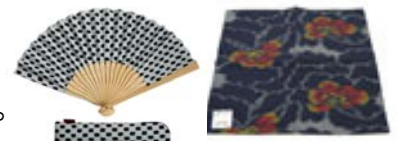
・業界関係者によると、国内における手ぬぐい市場は、概ね20億～30億円程度、また、ハンカチ市場は、400億円強とされている。

・ここ最近、和装商品に消費者の関心も高くなってきており、幅広い年齢層の顧客の獲得が期待できる。

◆販路

・首都圏の百貨店やファッション系専門店、海外におけるファッションジャーナリストへのPRを通じた海外での販路開拓を図る。

【同社の既存商品の例】



久留米絣関連商品

地域資源における関係事業者との連携

・生地製造における地元織元との連携、染色に係る福岡県工業技術センターとの協力に加え、デザイナーとの連携による商品づくりに取り組む。

3類型	農林水産物、 鉱工業品及びその生産技術	番号	2
地域資源名	い草、い草製品	認定日	平成20年 2月22日
地域	福岡県 大川市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名: 畳を家具にするプロジェクト

(花莫蔭を張ることで家具に畳の機能を持たせた新商品の開発と普及を目指すプロジェクト)

会社名: 株式会社添島勲商店

所在地: 福岡県大川市大字中木室23-1

連絡先: TEL: 0944-88-1141

H P: <http://www.soejima.com/>

FAX: 0944-88-1503

事業概要(新たな活用の視点)

・畳や莫蔭等のい草製品の製造技術を活かし、い草製品が有する美しさや強靭性をはじめ、空気の浄化作用や湿度調整作用等の優位性を維持した畳表や莫蔭を貼り付けた椅子等の新たな家具商品を開発し、その普及を目指す。



【開発予定商品】
「IGSA series」

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・畳や莫蔭等のい草製品の製造技術を活かし、い草製品が有する美しさや強靭性をはじめ、空気の浄化作用や湿度調整作用等の優位性を維持した家具はこれまでになく、家具業界への斬新な新商品として進化を図る。

◆市場性

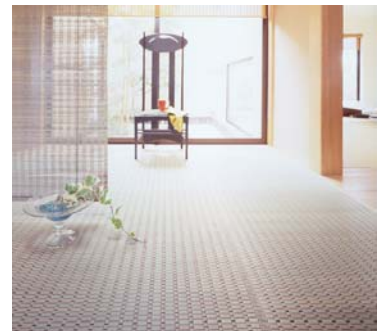
・日本の家具出荷額は年間約1.5兆円(H17工業統計)、世界の市場は約150兆円とも言われており、この市場にこれまで類をみなかった商品群として参入する。なお、イタリア等海外展示会等での試作品の評価は好評を得ている。

◆販路

・国内においては、首都圏等のインテリアショップや展示会への出展により販路開拓を行う。

・海外においても、ニーズに応じた商品づくりを行い、インテリアショップ、セレクトショップ、展示会出展による販路開拓を行う。

【同社の既存商品の例】



花莫蔭(掛川織小町)

地域資源における関係事業者との連携

・地元はい草生産者や製織加工業者との連携はもとより、福岡県工業技術センターと協力関係を構築する。

3類型	鉋工業品及びその生産技術	番号	3
地域資源名	博多織	認定日	平成20年 2月22日
地域	福岡県 福岡市、筑紫野市	所管省庁	経済産業省

事業名：30代以上の女性をターゲットとした新製織技術並びに新染色技術を生かした洋服等生産販売事業

会社名：西村織物株式会社

所在地：福岡県筑紫野市紫7-3-5

連絡先：TEL：092-922-7038
FAX：092-925-2925

H P：http://www.oriya-nishimura.co.jp/

事業概要(新たな活用の視点)

・博多織の特徴である絹糸による厚地織りの技術を応用した新たな織り技術と天然の植物染料を用いた染色技術により、従来にない洋服生地等を開発し、30代以上の女性を対象とした、スカーフやストール、ジャケット等の洋服を生産・販売する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・従来の博多織や他産地の洋服素材と比較して、肌に優しく光沢が美しく、耐久性に優れている点や、天然染料の深い色合いを生かし、機能性、気安さを追求しており、絹製品という希少価値の高さにも優位性がある。

◆市場性

・アパレル業界におけるニット・衣服縫製品全体に占める絹織物のシェアはわずか1%台であるが、これを逆手にとり、機能性や美しさ等の優位性を発揮し、希少価値の高い洋服等を開発し、市場へと参入する。これまでににおいても、試作段階におけるストール等は、大手百貨店からの引き合い・注目を浴びている。

◆販路

・国内市場では、首都圏等の百貨店での店頭販売や通販等幅広く行うほか、海外への販売展開を行う。

地域資源における関係事業者との連携

・染色技術における福岡県工業技術センターとの連携のほか、福岡市内の大手美容室や、デザイナー、アパレル関係業界とのネットワークの構築を図る。

【同社の既存商品の例】



3類型	鈹工業品及びその生産技術	通巻番号	4
地域資源名	伊万里・有田焼	認定日	平成20年 2月22日
地域	佐賀県 伊万里市、武雄市、嬉野市、有田町	所管省庁	経済産業省

事業名：IH対応発熱体を埋め込み一体化した有田焼陶鍋の販路開拓

会社名：末村窯業有限会社

所在地：佐賀県西松浦郡有田町南原甲10番地

連絡先：TEL：0955-43-3451

HP：-

FAX：0955-43-3451

事業概要(新たな活用の視点)

・産地・地域の現状と課題

近年衰退しつつある窯業中心の有田地域社会を再活性化するためには、窯業及び観光などの関連産業による収入を確保する必要がある。

・事業着手の経緯

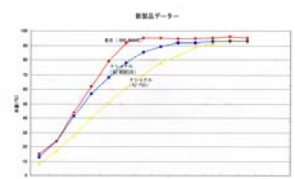
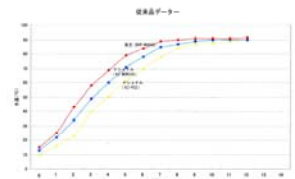
近年のオール電化マンション等の普及、高齢者・子供の安全性向上の観点から、今後も電磁(IH)調理器市場の伸びが見込まれる。その一方、現在IHに対応する陶磁器製鍋では、そのほとんどが発熱源となる銀ペーストを転写焼付けしたものであり、発熱部の亀裂、剥離等の不具合の発生も否めず、工夫の余地があった。

・地域資源の強みと新たな活用視点の導入

今回のIH対応有田焼陶鍋は、カーボン素材とセラミックス容器との融合を図り、カーボンの特性である電気を通す良導電性「良熱伝導性」を生かし、IHで発熱するセラミックス容器の開発に成功した。本製品を軸に用途開発を行い、IH対応有田焼陶鍋シリーズを拡大する予定。



【IH対応有田焼陶鍋セット】



水温上昇データ
上(従来品)、下(新製品)

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・新商品(IH対応有田焼陶鍋)は、IH調理器への対応はもちろん直火での使用も可能であり、現在競合する製品はない。
- ・本商品には、競合製品にはない特殊加工した「KCカーボン」を使用。1,200℃まで耐え、「良質電体」「良質伝導体」を充分発揮できる。

◆市場性

- ・市場ニーズは、現在のIH調理器の国内市場年間約50万台。オール電化住宅の伸びに伴い、現行ガスコンロ約480万台の市場にも期待。
- ・市場規模は、高齢者小規模世帯は600万世帯(65歳以上、H12年)の普及率25%を仮定。単価20,000円を想定し市場規模は300億円。

◆販路

- ・販路は「源右衛門窯」が展開する大阪、福岡など5店の直売店と全国の有力百貨店の販売網をフル活用する。

地域資源における関係事業者との連携

- ・連携する企業等は、(株)源右衛門窯、(株)田島商店、佐賀県窯業技術センター、佐賀県中小企業団体中央会。



【従来品】



【新製品】

3類型	農林水産品	番号	5
地域資源名	小国杉	認定日	平成20年 2月22日
地域	熊本県 小国町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：地域資源である小国杉と地熱を活用した低コストの地熱乾燥材並びに不燃材の供給事業

会社名：小国ウッディ協同組合

所在地：熊本県阿蘇郡小国町大字上田838

連絡先：TEL：0967-46-5360

H P：http://www4.ocn.ne.jp/~owd/

FAX：0967-46-5590

事業概要(新たな活用の視点)

・強い素材である「小国杉」から「温泉地熱」を活用して低コストで良質の乾燥材と不燃材を開発し、量産体制の構築、販路拡大を目指す。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・樹脂が多く、高い耐水性と色艶の良さに特徴をもつ良質の木材である「小国杉」を温泉地熱を活用して低コストの乾燥材、不燃材を量産する体制構築は域内で初の試みである。

◆市場性

・建築材市場は6兆円を超えており(H17工業統計)市場は大きく、高まる乾燥材の増加ニーズに高品質の資材供給体制を確立し、市場参入を目指す。
・不燃材は、現在の製品価格相場が80万円程度と高く、低コストでの供給により市場参入の期待が高い。

◆販路

・全国の設計事務所や建築業者の開拓、展示会やDMやHP等でのPRを通じて販路開拓を目指す。

地域資源における関係事業者との連携

・地元行政機関の支援、建築関連業者で構成された協議会との連携を始め、不燃性や乾燥性能等の検証に係る熊本県林業研究指導所との技術連携等を行う。



小国杉



小国杉を使用した施工例

3類型	鉱工業品及びその生産技術	番号	6
地域資源名	アイス	認定日	平成20年 2月22日
地域	熊本県 山鹿市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：産地アイスを活用した商品開発と販路拡大

会社名：株式会社パストラル

所在地：熊本県山鹿市鹿本町来民1929-2

連絡先：TEL：0968-46-6588
FAX：0968-42-3051

H P：http://www.niceice.jp/

事業概要(新たな活用の視点)

・イチゴやメロンなどの地域農産物を主原料にした「産地アイス」の製造技術を活用した健康アイス等やシャーベット(牛乳を使用しない氷菓)のソフトクリーム形体アイスを開発し、販路拡大を目指す。

【同社の既存商品の例】



さくらアイスマルク

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・これまで製造してきた150種もの業務用産地アイスの製造キャリアを活かし、市場規模が大きくなく、大手メーカーが参入しづらい利点を生かしたニッチ市場での販路開拓を目指す。
・また、滑らかな食感のソフトシャーベットは、業界初の取り組みであり、地域農産物を主原料とした業務用産地アイスの活用により類似品との差別化を図る。

◆市場性

・食に対する安全・安心が叫ばれる中、健康アイス等健康食材の需要は拡大しており、健康に係る機能性の高いアイス商品の市場拡大も大いに期待できる。
・牛乳を使用しないシャーベット状のソフトクリーム形態のアイスは、菓子店、カフェ、飲食店等潜在的な市場は広く将来的な市場性が期待できる。

◆販路

・首都圏の広告企画会社との連携により、小売店等へのダイレクト販売を目指す。



トマトシャーベット

地域資源における関係事業者との連携

・アイスの原料となる地域農産物に係る農業団体や農業生産法人、商品開発における公設試等との連携を図る。